

2024(令和6)年度 定時総会議案書

日 時 2024年5月26日(日)

午後 1 時 30 分より

会 場 燈明寺会館



特定非営利活動法人ぐるーぶ・ちえのわ

定 時 総 会 次 第

○ 開 会

- ・ 議長選出
- ・ 出席者数の報告（総会成立確認）

○ 議 事

第1号議案	2023年度事業報告	1
第2号議案	2023年度決算報告・監査報告	8
第3号議案	2024年度事業計画（案）	11
第4号議案	2024年度予算（案）	14
第5号議案	2024年度役員選任について	15

- ・ その他

○ 閉 会

1号議案 2023年度事業報告

(総括)

NPO 設立2年目の2023年度も、地域に理解と協力の輪を広げながら、違いを認め合い様々な交流が生まれる「インクルーシブな地域の広場」となることをめざして、「子ども・若者支援事業」、「地域のひろば事業」に取り組んできました。課題も多くありますが、次のような成果が見られました。

「子ども・若者支援事業」の学習支援活動では、新たに来所するようになった不登校児童の数が増え、個々に応じた学習活動が展開され、子どもたち同士の交流も広がりました。

このような利用の広がりを受け、学習支援に当たる支援者を増やしていくこと、また、個別のニーズを抱える小中学生の新たな来所希望者を募り、その人たちへ支援の輪を広げることが課題となっています。

余暇支援活動では、新たに開拓された農園を活用した活動のレポーターも広がりました。定期開催を始めた「あそびのひろば」では、地域の子どもたちの参加も増え、屋外でのカレー作り、会食、ちえのわの農園での遊びが活発に行われました。小学生から作業所に通う社会人の参加者も含めた異年齢の交流の場ともなりました。

「地域のひろば事業」も順調に継続できました。水曜日の介護予防事業の「ワイワイけんこうサロン」は参加者が前年度から倍増し、新たなボランティアも増えて、充実した活動が行われました。

カフェの営業においては、曜日ごとに「親子カフェ」「健康麻雀」「大人の寺子屋」など特色を持つ活動も活発に行いました。特に、木曜日の親子カフェでは乳幼児を連れた親子の来客も増えています。また、ランチメニューを増やす工夫も行いました。多世代の方が気軽に利用できる地域の居場所となるよう、更に検討を重ねていくことが課題です。

昨年度は新たに、スタッフ・ボランティアを対象とした研修会を開き、大正消防出張所長を講師に、救命救急に関して、カフェの中での実際の対応の仕方などを学びました。

また、とつか区民活動センターの依頼で「地域づくりステップアップ講座」をカフェで開き、活動紹介を行いました(7月)。さらに11月には、区や区社協主催の「戸塚区社会福祉大会」や、大正地区社協主催の講演会で活動発表をする機会を得て、私たちの活動を広くより多くの方々に知っていただくよい機会となりました。

1 子ども・若者支援事業

(1) 学習支援活動

【内容】一人一人に応じた内容での学習支援、並びに不登校生に対する個別学習支援を行った。

場所：第1ホーム・第2ホーム

対象：小学生・中学生(通常級、個別支援級在籍) 社会人(作業所などに通所される方も含む)

利用者数：小学生13名、中学生3名、社会人1名

利用者延人数：

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ人数	44	41	46	46	20	44	51	47	49	48	80	50	566

評価：不登校の小中学生の中で在籍校と連携をして、来所した日数を指導要録上の出席扱いとなる児童・生徒が4名に増えた。社会人の利用者に対する、専門分野(電気関係)に特化した学習支援も行われ成果をあげている。

(2) 余暇支援活動

【内容】障がいのある子どもたち、地域の子どもたちに対する遊びや調理等の余暇支援活動、織物や陶芸

等のアート活動、野外活動などを行った。

①さをり教室

場所：みんなの家

対象：小学生～大人

内容：色とりどりの糸の中から、自分で好きな色を選んで織物に仕上げる

評価：学習支援を受けている小学生が、手ほどきを受けてさをり織りを楽しみ、作品に仕上げる事ができた。また、「秋まつり」や「ちえのわまつり」などのイベントの「体験ひろば」の中でさをり織りを行い、延べ十数名の子どもや大人が体験を楽しむことができた。

②あそびのひろば

場所：ちえのわ敷地内、及び農園、開拓ひろば、神社前の公園等

対象：小学生～社会人

実施日	4月29日	5月27日	6月24日	7月22日	9月30日	12月2日	1月27日	合計
参加人数	10人	11人	10人	13人	12人	15人	22人	93人

内容：カレー作りや、屋外での会食や遊び。11：30～14：30まで行った。

評価：町内会だよりを通して広報活動を行い、地域の小学生の参加が増えてきている。

カフェの前の畑を新たに開拓し、農作物や果樹をメインに栽培しているが、子どもたちも作業の一部に参加することができた。まだ作物を植えていない広場では、参加した子どもたちや若者たちの楽しく遊ぶ姿が見られた。

③イベント

場所：ちえのわ敷地内、及び農園、開拓ひろば

対象：ちえのわ利用者、地域の子ども・大人たち

イベント名称	実施日	活動内容	参加者
秋まつり	10月28日(土) 13：00～15：30	あそびの広場、体験（サツマイモ掘り、花の苗植え、タイル作り、農園）	約100名
ちえのわまつり	3月23日(土) 13：00～15：30	あそびの広場、タイル作り、バザー（雨天実施）	約60名

(3) 相談活動

【内容】親子カフェ利用者の保護者に対して行う子育て全般に関わる相談、及び、学習支援利用者や不登校児童・生徒の保護者や支援者からの生活・学習相談等、ニーズに対応した相談活動を行った。

①子育て相談

場所：ちえのわチュンチュンカフェ

対象及び内容：木曜日の「子育てカフェ」に来る親子に対して奇数月に1回、保育専門家を招いて実施

評価：乳幼児の母親に対する子育て相談には、遠方からの来所者や、リピーターもいて大変好評だった。

②保護者相談

場所：ちえのわ第1ホーム、第2ホーム

対象及び内容：個別の支援を必要とする子どもの保護者に対して、随時、相談に対応した。不登校児童に関する相談を近隣の小学校の児童指導専任教員から受けたり、他区の不登校児童の保護者の相談に応じたケースもあった。

2 地域のひろば事業

(1) 横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業（サービスB）「ワイワイけんこうサロン」

【内容】地域の要支援者などを中心とした高齢者の方に介護予防に資するプログラムを提供した。

日時：毎週水曜日 11：00～14：00

会場：ちえのわチュンチュンカフェ

プログラム：

- ①健康体操（地域施設の専門職が講師に）
- ②笑いヨガ（笑いの体操とヨガの呼吸法を合わせたもの）
- ③チュン・ランチ（産直野菜を使ったバランスのよいランチを提供）、
- ④ハッピープログラム（脳トレ、レクリエーション・染め物・クラフト・手遊び唄など）
- ⑤ティータイム（カフェのオリジナルコーヒーなどを飲みながらのおしゃべりタイム）

利用者数：A=要支援者の利用人数、 B=要支援者以外の利用者やスタッフ等を含む人数 (延人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実施回数	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	3	46回
利用者A	14	18	18	21	21	22	15	22	15	21	24	17	228人
利用者B	61	60	67	66	62	68	63	74	55	72	66	51	765人

スタッフ：コーディネーター、プログラムリーダー、ランチ担当者、レク指導者、ボランティア

<評価>

- ・ちえのわだよりでの広報や三区（港南・栄・戸塚）合同情報交換会の戸塚区代表としてサロンの様子を報告した結果、利用者の増加につながった。
- ・地域ケアプラザの職員や施設の理学療法士が健康体操の講師として参加することで、プログラムの充実につながった。
- ・午後のハッピープログラムにおける多様な内容の取り組み（陶芸、染物、腹話術、脳トレ、紙芝居、昔遊び・手遊びなど）が好評を博した。またボランティアによる講師だけでなく、利用者が得意な分野で講師を担うこともあり、自身の健康増進や元気回復につながっている。
- ・和洋中と世界を旅するような野菜たっぷりの手作りランチが好評だった。
- ・ちえのわのイベントで、利用者が昔遊びのコーナーを担当し、共に楽しんだ。

<課題>

- ・サービスBにおける1回の参加者が「要支援認定5名」の条件を満たすために、もう少し多くの要支援認定者の登録を増やしていきたい（現在、13名の登録者のうち要支援認定該当者は7名）
- ・屋外機能訓練の検討、実施。
- ・利用者の皆さんが興味や楽しみを持てるようなハッピープログラムの内容のさらなる充実を図る。

(2) カルチャー広場

【内容】カフェの開店時間内で、地域人材を講師にした「大人の寺子屋」や「ものづくりワークショップ」、自由に対戦を楽しむ「健康麻雀」などを開催した。

①大人の寺子屋

会場：ちえのわチュンチュンカフェ

	日時	テーマ	講師（敬称略）	参加者数
第1	4月18日(火)	航空写真から見る小雀の移り変わり	大山敏氏	7名

期 (41名)	4月25日(火)	スマホから広がる SNS の世界 ～個人レッスン	大学非常勤講師 鍋島尚子氏	7名
	5月16日(火)	小雀まち物語から知る小雀の 移り変わり	石川 美代子氏	8名
	5月23日(火)	スマホから広がる SNS の世界 ～個人レッスン	大学非常勤講師 鍋島尚子氏	5名
	6月20日(火)	小雀の虫・鳥・花たちを語る	小雀公園管理事務所 栗原 砂織氏	11名
	6月27日(火)	スマホから広がる SNS の世界 ～個人レッスン	大学非常勤講師 鍋島尚子氏	5名
第 2 期 (35名)	7月18日(火)	五霊神社の"のぼり旗"から知 る歴史	萩谷 邦昭氏	7名
	7月25日(火)	藍を知り藍を学ぶ	アトリエ十色 大藪明恵氏	8名
	8月22日(火)	語り継がれない災害の痕跡を たどる	小谷 哲夫氏	8名
	8月29日(火)	藍を知り藍を学ぶ	アトリエ十色 大藪明恵氏	6名
	9月26日(火)	藍を知り藍を学ぶ	アトリエ十色 大藪明恵氏	9名
第 3 期 (43名)	10月17日(火)	630年続く五霊社の例大祭を 語る	萩谷邦昭氏	7名
	10月24日(火)	わたしが楽しみ みんなで楽 しむワークショップ	田島直美氏 笠原すみ子氏	7名
	11月21日(火)	小雀の花・鳥・虫たちを語る	小雀公園管理事務所 栗原砂織氏	6名
	11月28日(火)	わたしが楽しみ みんなで楽しむワ ークショップ(腹話術)	田島直美氏	6名
	12月19日(火)	12月の小雀公園散策	栗原砂織氏	8名
	12月26日(火)	わたしが楽しみ みんなで楽しむワ ークショップ(マジック)	笠原すみ子氏	7名
第 4 期 (33名)	1月16日(火)	小雀だよりの50年に見る町 の移り変わり	大山敏氏	10名
	1月23日(火)	草木染め講座	アトリエ十色 大藪明恵氏	6名
	2月20日(火)	小雀町のマチのよさとこれか らの課題	田村明記念・まちづくり研究会 田口俊夫氏	11名
	2月27日(火)	大人の折り紙教室	鍋島尚子氏	6名
合計				152名

②ものづくりワークショップ

会場：ちえのわチュンチュンカフェ

月日	テーマ	対象	参加者
5月18日	シーグラスでアクセサリーづくり	大人と保護者同伴の子ども	5名
8月5日	シーグラスでリース作り	大人と保護者同伴の子ども	5名
9月16日	シーグラスでランプシェード	大人	5名
11月18日	クラフトバンドでクリスマス飾り	大人と保護者同伴の子ども	5名
2月17日	デコパージュで小物作り	大人と保護者同伴の子ども	2名

③健康麻雀

会場：ちえのわチュンチュンカフェ

内容：毎週金曜日、カフェにおいて、近隣の方が講師となり、健康麻雀が行われた。参加者が増え年度末には二卓を囲む日も増えた。

(3)カフェ運営

【内容】月曜日から土曜日まで、及び第 1 日曜日にカフェを開店して地域の方々の憩いの場とした。日替わりで音楽カフェ、親子カフェ等の特色を出し、利用者同士の交流を図る場とした。また、平日の夜間や日曜日は多目的交流スペースを団体利用に供するほか、展示スペースや小箱ショップの貸し出し等により、地域での様々な活動の促進を図った。

①カフェの営業

○月別来客数(2023年4月～2024年3月)

月	開店日数 (日)	来店者数 (人)	平均値 (人)	サービス B の 参加者数	サービス B を 含む人数	サービス B を含 む平均値(人)
4月	26	192	7.38	30	222	8.54
5月	25	161	6.44	34	195	7.80
6月	28	202	7.21	36	238	8.50
7月	26	164	6.31	38	202	7.77
8月	27	160	5.93	38	198	7.33
9月	25	176	7.04	36	212	8.48
10月	25	174	6.96	24	198	7.92
11月	26	192	7.38	40	232	8.92
12月	24	161	6.71	26	187	7.79
1月	20	186	9.30	41	227	11.35
2月	24	195	8.13	34	229	9.54
3月	25	180	7.20	28	208	8.32
合計	301	2,143	7.12	405	2,548	8.47

※サービス B 参加者数はスタッフを含まず

評価：・地域のイベント参加や、SNS での発信などで広報活動を行った。

・来客数の増加は見られなかったが、リピーターが増えてきている。

・亀井野コーヒーの閉店に伴い、新たなコーヒー豆の購入先を探し決めることができた。

課題：・基本のマニュアルを整備・補充し、新しいスタッフへの研修を行い、習熟を図る。

・新しい軽食メニューを増やしたり、積極的広報を行って、更に集客できるカフェをめざす。

・地域の方が気軽に立ち寄れる「地域の居場所」となるよう工夫を重ねる。

例・・月 1 回の日曜日営業の時にイベント（バザー、子どものイベント）の試行など。

②小箱ショップ・展示スペースの利用

小箱ショップ使用料（使用料は製品売り上げの 30%、または月額 1,000 円）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1,456	4,770	3,512	3,020	6,896	5,177	4,836	2,710	2,564	2,545	2,055	3,470	43,011

評価：小箱ショップには前年に引き続き、クラフトや、布製品、陶芸作品など魅力的な手作り品が並び、前

年度をやや上回る売上額があった。カフェに来客された方の多くが、小箱ショップの製品に関心を示され、人気のあるコーナーとなっている。展示スペースでは、中学生の染め・織りの作品や、地域の方の刺しゅう作品の展示を行うことができた。町内会だよりや回覧板で広報し、多くの方に足を運んでいただくことができた。

課題：新たに出店されたい方の希望に添えるよう、数に限りがある陳列棚の使い方を検討していく。

③貸室の利用

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2,700	4,800	4,800	4,500	1,800	3,000	2,250	2,250	2,400	3,150	3,600	1,800	37,050

評価：昨年度は、前年と比べて、貸室利用回数が飛躍的に伸び、多くの収益につながった。これは、定期的に利用される個人（音楽講師によるレッスン会場として週1～2回）、団体（敬友会・体操月2回）からの申し込みがあり、継続利用していただくなど、地域に貸室として定着してきている。

課題：鍵の受け渡し方法の改善等。

3 特別事業

NPO 設立一周年を記念し、バスフルート奏者の渡瀬英彦氏をお招きして「一周年記念コンサート」を開催した。子どもから大人まで約 40 名の参加を得て、素晴らしい演奏を楽しんだ。

4月2日（日）14:00～ 15:30～ 会場：ちえのわチュンチュンカフェ

4 事業実施体制

(1) 会議

①第2回総会（年1回開催）：2023年5月28日（日） 会場：燈明寺会館

②理事会（年4回開催）：7月16日、11月19日、1月21日、4月21日

③運営会議（月1回13:30～15:30開催）

構成：奥山、小谷、加藤、小林、鈴木、高橋、椿、鍋島、増田、宮越、石井、中島、山崎

回	日時	主な議題	理事会
1	5/14（日）	各分会事業報告、②昨年度の活動の振り返りと今年度の方向について	
2	6/18（日）	各分会事業報告、三役会議報告、カフェ運営について他	
3	7/16（日）	各分会報告、NPO 活動保険説明、サービス B 開催時間について他	第1回理事会
4	8/20（日）	各分会報告、台風時のカフェ運営について、ちえのわだより第4号他	
5	9/24（日）	各分会報告、秋まつりの企画準備、フードドライブへの協力について	
6	10/15（日）	各分会報告、秋まつり（10/28）実施計画他	
7	11/19（日）	各分会報告、秋まつり反省、上半期会計報告、来客数データに基づく改善の検討他	第2回理事会
8	12/17（日）	各分会報告、だより5号案、農園・遊びの広場の整備について他	
9	1/21（日）	各分会報告、新メニューを含む価格の見直しについて 他	第3回理事会
10	2/18（日）	各分会報告、ちえのわまつり案、新メニューを含む価格の見直し 他	
11	3/10（日）	各分会報告、ちえのわまつりについて	
12	4/21（日）	各分会報告、2023 年度カフェ来客数データの説明と今後のカフェ運営について 他	第4回理事会

④事業部会：子ども・若者支援事業部会（学習支援事業、余暇支援事業、相談事業について）、
地域のひろば事業部会（カフェ運営、健康サロン事業、カルチャー広場事業について）

⑤三役会：毎週月曜日開催

(2) 広報活動

- ①NPO 法人ぐるーぷ・ちえのわリーフレット：NPO 設立時の法人紹介リーフレットを増刷
- ②ちえのわだより：活動紹介紙（A4 版 4 ページ 800 部発行）5 月第 3 号、9 月第 4 号、2 月第 5 号を発行
- ③小雀町内広報：町内会報「小雀だより」に寄稿（毎月）、町内会回覧版にカレンダー、事業チラシ挟み込み
- ④HP、FB 等 SNS の運用
- ⑤戸塚区ホームページ「地域の居場所」ページ、大正地区ホームページに紹介記事を掲載いただいている

(3) 研修受け入れ・活動発表

- ①とつか区民活動センター主催「地域づくりステップアップ講座」の研修受け入れと活動紹介
7 月 29 日（土）10 時～12 時 約 15 名来訪 会場：ちえのわチュンチュンカフェ
- ②戸塚区福祉保健課・区社会福祉協議会主催「戸塚区社会福祉大会」での活動発表
11 月 11 日（土）13:30～16:15 会場：男女共同参画センター横浜
- ③大正地区社協研修会「大正をもっと明るくする講演会」にて活動発表
11 月 17 日（金）18:00～ 会場：大正地区センター

(4) 職員研修

- ①NPO 会計研修 1 名参加
- ②労務・会計研修 2 名参加
- ③救命救急研修 10 名参加

(5) 事務局体制

- ①事務局長（会計・文書管理）：山崎
- ②カフェボランティア業務集計：増田
- ③施設維持管理：小谷
- ④会計入力事務：中島
- ⑤広報（HP・SNS）：鍋島、小林

第2号議案 2023年度決算報告・監査報告

2023年度活動計算書

2023年4月1日～2024年3月31日まで

特定非営利活動法人ぐるーぶ・ちえのわ (単位:円)

科目	予算額	決算額	備考
I 経常収益			
1. 受取会費	80,000	99,000	
正会員受取会費	60,000	70,000	2,000円×35人
賛助会員受取会費	20,000	29,000	(個人)1口2,000円×7口、(団体)1口5,000×3口
2. 受取寄付金	130,000	256,683	
受取寄付金	130,000	256,683	一食地域貢献プロジェクト150,000、個人寄付金106,683
3. 受取助成金等	2,990,000	2,854,644	
受取民間助成金	180,000	123,000	生活クラブ90,000、地区社協30,000、人材育成支援助成金3,000
受取公的助成金	1,010,000	980,000	神奈川県心身800,000、ふれあい助成金180,000、
受取公的補助金	1,800,000	1,751,644	サービスB補助金
4. 事業収益	2,300,000	2,361,077	
子ども若者事業収益	500,000	526,721	学習支援・余暇支援事業参加費、イベント収益
地域のひろば事業収益	1,800,000	1,834,356	カフェ売上、健康サロン参加費、カルチャー広場参加費
5. その他収益	15,000	21,011	
受取利息	0	11	ゆうちょ銀行受取利息
雑収益	15,000	21,000	地域づくりステップアップ講座他講師謝礼
経常収益計 (A)	5,515,000	5,592,415	
II 経常費用			
1. 事業費			
印刷製本費	100,000	61,159	ちえのわだより(第3～5号)、学習資料・広報資料コピー代
会議費	0	6,010	来客接待、打合せ等
旅費交通費	60,000	74,000	余暇支援ボランティア交通費、講師旅費、スタッフ買い出し交通費
スタッフ手当	240,000	240,000	固定業務定額支給(2名分)
ボランティア謝金	670,000	754,200	学習支援、余暇支援、カフェ、サービスB等ボランティア謝金
講師謝金	30,000	139,260	健康サロン講師、大人の寺子屋講師、子育て相談講師料
通信運搬費	131,000	116,436	電話代、Zoom接続料、郵送料等
消耗品費	360,000	469,385	事業用消耗品費
食材料費	850,000	986,439	カフェ・健康サロン・余暇支援事業食材料費
教材材料費	132,000	298,250	学習支援、余暇支援、健康サロン教材購入費
修繕費	20,000	39,461	備品修繕
水道光熱費	370,000	299,202	第1ホーム、第2ホーム、みんなの家、多目的交流スペース水道光熱費
地代家賃	1,560,000	1,560,000	第1ホーム、第2ホーム、みんなの家、多目的交流スペース賃借料
租税公課	0	101,400	2022年度法人所得税、法人市・県民税
雑費	100,000	71,435	小雀地区明細図広告掲載料、小雀バスサポーター協賛金他
減価償却費	0	28,526	事業用パソコン購入
事業費計	4,623,000	5,245,163	
2. 管理費			
印刷製本費	30,000	0	
会議費	10,000	2,200	来客接待、打ち合わせ等
旅費交通費	6,000	4,616	横浜市役所他出張旅費
スタッフ手当	240,000	240,000	固定業務定額支給(5名分)
講師謝金	2,000	2,000	社会保険労務士相談謝礼
通信運搬費	20,000	0	
消耗品費	40,000	81,187	事務用消耗品
保険料	18,000	27,462	NPO活動総合保険
研修費	10,000	3,600	NPO会計講座研修
修繕費	50,000	0	建物小破修繕
租税公課	80,000	0	
支払手数料	3,000	2,684	振込手数料
雑費	40,000	38,857	町内会費、駐車場借用御礼 他
管理費計	549,000	402,606	
経常費用計 (B)	5,172,000	5,647,769	
当期正味財産増減額	343,000	△ 55,354	(A)-(B)
前期繰越正味財産額	253,751	253,751	
次期繰越正味財産額	596,751	198,397	

財務諸表の注記

特定非営利活動法人ぐるーぷ・ちえのわ

2024年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定額法

(2). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み経理方式によっています。

【事業費の内訳】

事業費の区分は以下の通りです。

科目	子ども・若者支援事業	地域のひろば事業	事業費計	管理費	合計
(人件費)					
人件費計	0	-	-	0	0
(その他経費)					
印刷製本費	25,587	35,572	61,159		61,159
会議費	0	6,010	6,010	2,200	8,210
旅費交通費	10,000	64,000	74,000	4,616	78,616
スタッフ手当	0	240,000	240,000	240,000	480,000
ボランティア謝金	274,500	479,700	754,200		754,200
講師謝金	14,000	125,260	139,260	2,000	141,260
通信運搬費	71,847	44,589	116,436		116,436
消耗品費	114,318	355,067	469,385	81,187	550,572
食材料費	74,318	912,121	986,439		986,439
教材材料費	230,232	68,018	298,250		298,250
修繕費	16,978	22,483	39,461		39,461
水道光熱費	167,558	131,644	299,202		299,202
地代家賃	540,000	1,020,000	1,560,000		1,560,000
保険料	0	-	-	27,462	27,462
研修費			-	3,600	3,600
支払手数料			-	2,684	2,684
租税公課	0	101,400	101,400		101,400
雑費	21,522	49,913	71,435	38,857	110,292
減価償却費	28,526	-	28,526		28,526
その他経費計	1,589,386	3,655,777	5,245,163	402,606	5,647,769
合計	1,589,386	3,655,777	5,245,163	402,606	5,647,769

【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位: 円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
(有形固定資産)						
什器備品	0	114,106	0	114,106	△ 28,526	85,580
合計	0	114,106	0	114,106	△ 28,526	85,580

【借入金を増減内訳】

[税込] (単位: 円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計	300,000	400,000	0	700,000

貸借対照表
2024 3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
(現金預金)		
当座預金	36,589	
普通預金	824,584	
現金・預金計		861,173
(売上債権)		
未収金		
仮払金		
売上債権計		0
流動資産合計		861,173
2. 固定資産		
什器備品	85,580	
固定資産合計		85,580
資産合計		946,753
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	48,356	
短期借入金	700,000	
流動負債合計		748,356
負債合計		748,356
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		253,751
当期正味財産増減額		△ 55,354
正味財産合計		198,397
負債及び正味財産合計		946,753

財産目録

2024 年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
当座預金	36,589	
普通預金(ゆうちょ銀行)	824,584	
流動資産合計		861,173
2. 固定資産		
(有形固定資産)		
什器・備品	85,580	
固定資産合計		85,580
資産合計		946,753
II 負債の部		
1. 流動負債		
短期借入金	700,000	
未払金	48,356	
流動負債合計		748,356
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		748,356
正味財産		198,397

2023年度監査報告

2023年度特定非営利活動法人ぐるーぷ・ちえのわの会計を監査した結果、適正かつ正確であることを認めます。

2024年5月18日

監事

萩谷 邦昭 

監事

金原 秀幸 

第3号議案 2024年度事業計画(案)

(事業活動方針)

特定非営利活動法人ぐるーぷ・ちえのわは、2022年度に法人格を取得して3年目を迎えます。今年度も一層地域に理解と協力の輪を広げながら、違いを認め合い様々な交流が生まれる「インクルーシブな地域の広場」になることを目指して活動していきます。

「子ども・若者支援事業」については、小中学生や障がいのある子ども、若者、不登校児童・生徒に対する個別学習支援活動、並びに余暇支援活動を継続して実施していきます。特に近年増えている不登校児童・生徒に対する支援の整備・充実を図り、安心して学び、活動ができる居場所となるよう努めていきます。また、保護者の子育て相談に引き続き対応するとともに、相談に対応するスタッフの研修の機会も設け、支援者の輪も広がっていきます。

「地域のひろば事業」については、多目的交流スペースにおけるカフェの運営で、地域の方々が気軽に立ち寄れる憩いの場となるよう、更なる改善を図っていきます。曜日ごとの「親子カフェ」「大人の寺子屋」「健康麻雀」など特色を持つ活動内容の充実を図り、利用者の交流やつながりを広げていきます。

また、横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業による「ワイワイけんこうサロン」では、引き続き地域の要支援高齢者に対して介護予防に資するプログラムを提供し、要支援参加者を募っていきます。本事業を通して心身ともに健康で生き生きと暮らせる地域社会づくりをめざしてまいります。

1 子ども・若者支援事業

(1) 学習支援活動

内容：小中学生（通常級、個別支援級、特別支援学校等在籍）～社会人（作業所通所の方も含む）の個別のニーズに応じた学習支援、並びに不登校児童・生徒に対する個別学習支援内容の整備・拡充を図る。

日時：通年

実施場所：第1ホーム、第2ホーム

従事者数：6名

対象者：地域の小学生、中学生、社会人等、及び不登校の子ども 延 600名

(2) 余暇支援活動

内容：障害の有無に関わらず、小中学生～社会人までを対象とした、個別や小集団での遊びや調理、織り染め・陶芸等のアート活動、及び農園での作業体験や開拓ひろばでの野外活動、今年度より新たに始めるリズム遊びを中心とした音楽ワークショップの余暇支援活動等。

日時：通年

実施場所：第1ホーム、第2ホーム、みんなの家、ちえのわの農園、開拓ひろば、近隣の公園

従事者数：約12名

対象者：地域の小学生、中学生、社会人、及び不登校の児童・生徒 延 350名

(3) 相談活動

内容：学習支援活動利用者の保護者に対して、必要に応じて学習相談や生活相談を行う。また、「子育てカフェ」に来る親子に対して、保育専門家を招いて「子育て相談」を行う。

・不登校児童・生徒の保護者同士が体験や悩み等を自由に語り合う場（体験交流会）を設ける。必要

に応じて助言者を要請する。

日時：相談活動は通年（随時）、子育て相談は隔月に 1 回開催。不登校児童・生徒の保護者の体験交流会は年間 3～4 回。

実施場所：第 1 ホーム、第 2 ホーム、多目的交流スペース

従事者数：5 名

対象者：利用者の保護者

2 地域のひろば事業

(1) ワイワイけんこうサロン（横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業）

内容：地域の要支援者等を中心とした利用者に、週 1 回、高齢者向けの介護予防に資するプログラムを提供する。

日時：毎週水曜日 11:00～14:00（第 5 水曜日を除く）

実施場所：多目的交流スペース

従事者数：6 名

対象者：地域のケアプランに位置づく高齢者 延 480 名以上

(2) カルチャー広場

内容：カフェを行う中で、地域人材を講師にした「大人の寺子屋」については一層の内容の充実を図る。

「健康麻雀」「PC・スマホ相談」「ものづくりワークショップ」では、利用者のニーズに応える内容の充実を図っていく。

日時：通年

実施場所：多目的交流スペース

従事者数：9 名

対象者：地域の方々

(3) カフェ運営

内容：月曜日から土曜日まで、及び第 1 日曜日にカフェを開いて地域の方々の憩いの場とする。日替わりで音楽カフェ、親子カフェ等を行い、利用者同士の交流を図る場とする。また、メニューを拡充することにより利用者数の増加を図る。平日夜間や日曜日はスペースを個人・団体利用に供するほか、展示スペースや小箱ショップの活用により地域での様々な活動の促進を図る。

日時：通年

実施場所：多目的交流スペース

従事者数：18 名

対象者：地域の方々

3 事業実施体制

(1) 会議

①通常総会

②理事会（年 4 回開催）

③運営会議（月 1 回開催）

④事業部会：子ども・若者支援事業部会、地域のひろば事業部会

⑤三役会：適宜開催

(2) 広報活動

- ①会報「ちえのわだより」（年3回、A4版4ページ）
- ②小雀町内広報：町内会報「小雀だより」に寄稿（毎月）
- ③月間カフェカレンダー、事業チラシ等 回覧板挟み込み
- ④ホームページ、Facebook、インスタグラムの運用
- ⑤戸塚区ホームページ「地域の居場所」ページ、大正地区ホームページに掲載

(3) 視察・研修の受け入れ

- ・ とつか区民活動センター主催「とつかさくら塾」の研修受け入れと活動紹介（予定）
11月9日（土）11時半～14時半 於・ちえのわチュンチュンカフェ

(4) スタッフ研修

- ・ 食品衛生、感染予防・対策等に関する研修を予定
- ・ 不登校理解・支援に関わる研修（民間及び行政の主催する研修会への参加を予定）

(5) 事務局体制

- ①文書管理
- ②会計
- ③カフェボランティア業務集計
- ④施設維持管理
- ⑤広報（HP・SNS）

第4号議案 2024年度予算(案)

活動予算書(案)

2024年4月1日～2025年3月31日まで

特定非営利活動法人ぐるーぷ・ちえのわ

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	70,000		
賛助会員受取会費	40,000	110,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	300,000	300,000	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	200,000		
受取公的助成金	980,000		
受取公的補助金	1,800,000	2,980,000	
4. 事業収益			
子ども若者事業収益	550,000		
地域のひろば事業収益	1,900,000	2,450,000	
5. その他収益			
雑収益	20,000	20,000	
経常収益計			5,860,000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
人件費計	0		
(2)その他経費			
印刷製本費	80,000		
会議費	10,000		
旅費交通費	75,000		
スタッフ手当	240,000		
ボランティア謝金	800,000		
講師謝金	140,000		
通信運搬費	120,000		
消耗品費	400,000		
食材料費	990,000		
教材材料費	300,000		
修繕費	50,000		
水道光熱費	300,000		
地代家賃	1,560,000		
租税公課	75,000		
雑費	60,000		
減価償却費	29,000		
その他経費計	5,229,000		
事業費計		5,229,000	
2. 管理費			
(1)人件費			
人件費計	0		
(2)その他経費			
会議費	3,000		
旅費交通費	5,000		
スタッフ手当	240,000		
講師謝金	2,000		
消耗品費	40,000		
保険料	31,000		
研修費	10,000		
支払手数料	3,000		
通信運搬費	2,000		
印刷製本費	5,000		
雑費	40,000		
その他経費計	381,000		
管理費計		381,000	
経常費用計			5,610,000
当期正味財産増減額			250,000
前期繰越正味財産額			198,397
次期繰越正味財産額			448,397

第5号議案 2024年度役員選任について（案）

1 この法人の2024年度の役員は、次に掲げる者とする。

理事	奥山 雅子
同	小谷 哲夫
同	小林 篤
同	鈴木 幸子
同	椿 しのぶ
同	加藤美由紀
同	山崎 信喜
同	増田 健作
監事	萩谷 邦昭
同	金原 秀幸

2 この法人の2024年度役員任期は、定款第16条第1項の規定にかかわらず、成立の日から2026年度の通常総会が終結するまでとする。

特定非営利活動法人ぐるーぷ・ちえのわ 2024 年度定時総会議案書

日時：2024 年 5 月 26 日（日）13：30～ 会場：燈明寺会館

〒244-0004 横浜市戸塚区小雀町 1115-1 特定非営利活動法人ぐるーぷ・ちえのわ

TEL&Fax 045(410)6218

e-mail chienowa2022@gmail.com

HP：chienowa.s1010.xrea.com